一般社団法人防災ガール★平成27年度報告書

Annual Report of Disaster prevention girl

第二期｜平成27年7月1日～平成28年6月30日

はじめに

報告書をご覧になる皆様へ

　ついに防災ガールも法人化して1年が経ち、この決算・報告書を作成するのも二度目になりました。(まだ全然慣れません・・・笑)
　昨年も、この「報告書」をただ作成するだけでなく、ここにも「想い」と「意味」をのせて作りたいと考えましたが、今年もそこから考えたいと思います。今年は、法人化して体制を整えたからこそのチャレンジがたくさんありました。それと同時に、より一層多くの方々にお力添えをいただいております。

成長をもってお礼とする。

その考えもあって『1年を通したチャレンジの報告』を一番の目的に。そして『目に見えないご協力を可視化する』ことを目的として、今回の報告書を作成させていただきます。
ふだん伝えきれていない、たくさんの感謝の気持ちをこめて。

目次

- はじめに
- 団体概要
- 組織体制
- 1年の振り返り
- 活動・実施報告
- 収支報告
- 最後に

団体概要

概要 – 団体情報

団体名
防災ガール★ (正式名称：一般社団法人 防災ガール)

法人設立日
2015年3月11日　(団体設立日：2013年8月26日)

活動・事業内容
1. 防災対策普及事業
2. 産官学連携事業
3. プロジェクト企画事業
4. 情報発信事業
5. 防災教育事業
6. 商品開発販売事業

設立背景
　これからくる南海トラフ、首都直下大地震を始め、津波・土砂災害・台風など、いつどこで何が起きるかわからない時代に生きる私たち。しかし若い世代は未だ防災を含め自分たちの生活や命に対しての意識が低い。まさに今この社会課題を解決していかなければいけないとおもい設立しました。特に「防災」においてはより多くの若い世代が事前の準備や緊急時の動き方の理解をしておき「自助」だけでなく周りの人を助けることが出来る「共助」人材となることが一つでも多くの命を救うことにつながると考えます。

VISION

防災をすることがあたり前の世の中に

平時と緊急時という境目をなくし、普段の生活から未来に対して
備えた行動をする「生きぬく力」のある人が多くいる世界をつくる

CONCEPT

もっと防災をオシャレでわかりやすく

MISSION

世界有数の"被災リスク高い国"日本において、
20-30代若者の防災対策不足を向上させるために、
新しい防災の価値提案をする

TARGET

20代～30代若者

コアターゲット：都内在住、渋谷で働くIT系25歳独身女性

概要 – ミッションステートメント

Keep learning
選ぶなら面白い方、わくわくする方を選択し
楽しみながら自主的に学び続ける

Warm hearted
身近な人を思いやり、即座に助ける

Flexible
とことん巻き込み、巻き込まれることを楽しむ
想定していなかった時こそ可憐に冷静に

Cool-headed
自分で考え、冷静に判断し、問題解決する

Leadership
メンバー全員がリーダー
あたりまえのことをあたりまえに実行し
自分の知識や経験を惜しみなくシェアする

組織体制

組織 – チーム編成

防災ガールとなったメンバーは
各チームを選択して活動します

理事会

理事・監事

事務局

事務局

防災ガール

人事・管理チーム

企画・運営チーム

WEB・情報発信チーム

有給スタッフ　事業責任者・事業継続責任

組織 – 理事会・事務局

理事・東京都災害支援ナース
鎌倉 千代子

理事・兵庫県立大学 准教授
木村 玲欧

監事・PwC・公認会計士
藤井 美明

監事・弁護士
小野田 峻

代表理事・事業推進チーム担当
田中 美咲

事務局・WEB情報発信チーム担当
筒木 愛美

事務局・人事管理チーム担当
中西 須瑞化

組織 – 2016年前期メンバー

法人化後、「防災ガール」は法人における一般会員となったものを正式に「防災ガール」と認定することにしました。半期毎の更新とし、新メンバーも半期毎に募集を致します。

組織 – プロフェッショナルチーム

「プロフェッショナルチーム」と呼ばれる専門知識や経験のある方々に多大なるご協力をいただきながら日々の活動により信頼性と正確性を加え、知識や経験のレベルアップをはかっています。

(敬省略)

■古橋 大地
　Chief Mapping Officer として地図情報・IT×災害分野に特化
　ドローンを活用した災害支援チームの代表、青山学院大学教授

■大塚 智子
　ベンチャー、スタートアップ支援に特化。コネクターとしても活躍

■宇野沢 達也
　ウェザーニュースの全国リポーターと連携、世界中の気象情報に特化

■釘子 明
　陸前高田で被災され、現在東日本大震災の語り部、避難所の運営経験あり

■木村 玲欧
　兵庫県立大学教授。防災心理学の権威であり、災害時の人間の心理に特化

■牧 貴士
　９年の起業経験と、豊富なネットワーク、プロジェクト全体設計を担う

■東 宏樹
　独立行政法人防災科学技術研究所所属、防災情報に関してサポート

■Kenji Mori
　ニューヨークでも活躍するプロカメラマン

その他にも、笠原孝弘,本間要司,臼井清,栗原知也,桑本巌,須永まみこ,後藤むつみ
高橋佳代子,合計18名のプロフェッショナルの協力あって成り立っています。

1年の振り返り / 沿革

沿革 – 設立から法人化まで

2013年3月　現代表田中が友人２名と防災ガールを考案
2013年3月　防災ガールwebサイト制作費用をクラウドファンディングにて募集、達成
2013年8月　webサイトbosai-girl.comリリースと共に団体設立
2013年12月 初のイベントを実施
2014年3月　女性向け防災グッズブランド「SABOI」リリース
2014年6月　ソーシャルスタートアッププログラム「SUSANOO」1期生に採択
2015年1月17日　渋谷発HINANKUNREN(特別版)
2015年3月11日　防災ガール、一般社団法人化
2015年3月15日　世界防災ジュニア会議にて優秀賞受賞

活動 – 法人化(3/11)からの主な出来事

◀2015年

3/11　防災ガール　一般社団法人化
3/14　国連防災世界会議ジュニア会議にて優秀賞獲得
3/24　NTTタウンページ株式会社との事業連携スタート
※写真 上

3/25　世田谷区にて次世代版避難訓練開催
4/30　三井不動産にて次世代版避難訓練開催
5/14　防災ガール★ママ　鈴鹿市連携事業スタート
※写真 中央

5/27　長野にて次世代版避難訓練　実施
6/2　「yelp」とネパールチャリティーイベント
6/9　防災ガールブランド「SABOI」完売
8/31　次世代版避難訓練×LUDUSOS in 渋谷 開催
※写真 下

9/5　宮崎県女性対象防災講演会 登壇
9/6　渋谷区と連携し「渋谷BOSAIFes'」開催
防災ガールドキュメンタリー映画上映

活動 – 法人化(3/11)からの主な出来事

9/10　北関東・東北土砂災害発生
※写真 上

9/19　避難訓練CAMP＠長野上田 開催
10/8　Facebook 5,000Likes突破
10/25　unreasonable labs Japan 2015 に採択
最優秀賞 スマートニュース賞受賞
※写真 中央上

11/26 JAMMINと連携し、チャリティーTシャツ販売
※写真 中央下

12/12 防災ガール★ドローンソン開催
※写真 下

2016年
1/19　新潟での防災講演会開催
1/19　埼玉県西部地区五市行政担当者向け防災講演会
1/23　京都府災害ボラセ記念イベント登壇
2/10　舛添知事と語ろう！in 大田区
3/11　法人化1周年 震災から5年イベント開催

活動 – 法人化(3/11)からの主な出来事

2016年

3/11　東京都×防災タウンページ特集記事制作

3/13　次世代版避難訓練 in 二子玉川開催

※写真 上

3/17　鈴鹿市連携チーム「防災★カンガルーすずか」成果報告会開催

※写真 下

3/末　人事・管理チーム結成

メンバー教育プログラムの実施

防災ボーイも
正式にスタート

4/1　有給スタッフ合計４名、プロボノ18名に増加

4/15　熊本地震発生

ソーシャルメディアを活用した

現地・後方連携支援の実施

4/17　防災ガールFacebookページ 6,000likes達成

5/28　熊本支援第2段 現地入り

6/1　日本財団より助成金獲得

6/30　新プロジェクト「#beORANGE」リリース

活動・実施報告

活動報告 – 団体全体での実施報告

平成27年度の目標

16万人が防災ガールを通して少しでも防災へのアクションを起こしている
（WEBランキング5位/有給社員3人/連携産官学数26社）

平成28年度の目標

VISION実現に向けた事業の取捨選択と成果の最大化
①内部教育の徹底　②連携産官学数の増加　③賛同者の増加

TOPIC 1. 連携産官学数が60社を越えました

複数年連携させていただいている企業や、全国からの講演・出演のご依頼をいただきついに60社を越えました！ありがたくて涙が止まりません。

TOPIC 2. ディフェンスにも力を入れました

スピードをもってとことんチャレンジしてきた３年間。税務・財務・総務・法務などディフェンスに専門家をおき、団体としての根幹を作り直しました。

TOPIC 3. ビジョンや方向性を整理しました

防災だけ！ではなく、「平時や緊急時など関係なく、生きぬく力のある人がたくさんいる世界」をつくっていきたいと考え、ビジョンを定義しなおしました。

活動報告 – 熊本支援について

第一弾支援（2016年4月27日～5月1日）

熊本地震発生後、一週間をかけてネット上で活動支援金を集め、
現地のニーズを調査し不足していると思われる物資を届ける支援をおこないました。
特に被災された女性にとって必要なものをお持ちしたことで、

「基本的なものは揃っても、
長い避難生活を考えたときに欲しいものはまだなかったので助かった」

といった声をいただくことができました。
改めて震災支援は継続性が大切だと考え、定期的な支援をしていくことを決意しました。

活動報告 – 熊本支援について

第二弾支援（2016年5月28日～5月31日）

震災関連死を少しでも減らすため、今わたしたちにできることは何か。
そう考えた結果、前回の活動支援金の残りを使い不足しがちな栄養を摂取でき少しでもリラックスすることのできる空間と時間を提供する、**「炊き出しらしくない炊き出し支援」**を実施しました。
現地では、幅広い年齢・性別の多くの方にドリンクを提供し、
炭水化物に偏りがちな食事を心配する栄養士の方や色々な方に
コンセプトやドリンクのラインナップについて喜んでいただくことができました。

担当事務局：田中美咲

事業推進チーム 実績報告

平成27年度の目標

①企業・行政・学校を介して、一度にリーチ出来る人数を増やす
②代表以外の講演・出演メンバーの育成

平成28年度の目標

2016年末までに受益者数を16万人まで増やす。
非営利事業と営利事業を分け社会変化に注力する。

TOPIC 1.

次世代版避難訓練の実現

一昨年から「公共の避難訓練を変え、防災のイメージを変えたい」という考えから
ゼロから開発したプログラムには多くの企業・行政・参加者の協力がありました

TOPIC 2.

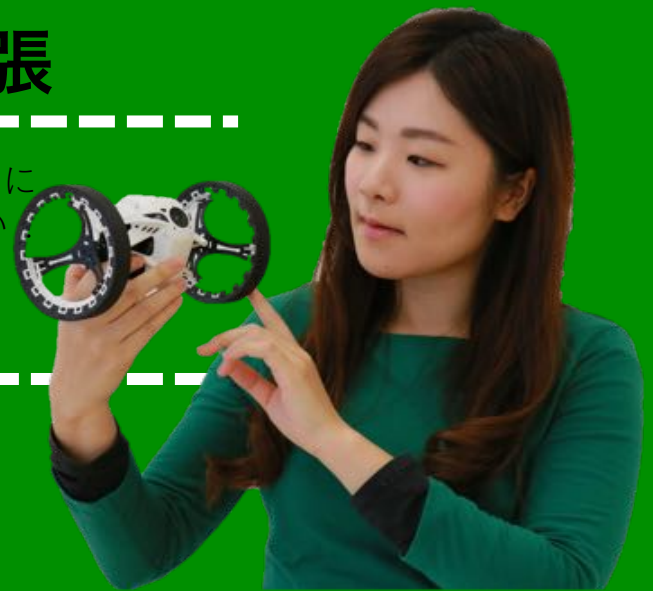
全国の防災地域への出張

NTTタウンページ様との連携のもと、全国の防災に
携わる人と会って話しを聞けました！ありがたい

TOPIC 3.

防災カンガルーの誕生

三重県鈴鹿市と連携し、防災ガールの鈴鹿市内
チーム「防災カンガルーすずか」が誕生！



活動報告 – 次世代版避難訓練LUDUSOS

Vol.1@渋谷（2015年8月）/ Vol.2@二子玉川（2016年3月）

防災ガール独自で開発した、テクノロジー×防災の次世代版避難訓練LUDUSOS。ゲーミフィケーションの要素を取り入れ、ingressという位置情報を活用したアプリを活用。世界観を作りにもこだわり、楽しみながら行うことができる避難訓練として今期に二度実施することができました。参加された多くの方から「避難訓練のイメージが変わった」という声をいただき、多数メディアにも掲載。LUDUSOSは避難経路も避難先も決まっていない新しい避難訓練であり、**『自分の頭で考え、判断し、行動する』**という緊急時に必要な思考回路を養うことができるプログラムとして、約200名の方にアプローチすることができました。

活動報告 – 防災タウンページ

実施期間：2015年3月～現在

NTTタウンページ株式会社様の「別冊防災タウンページ」発行に際し、NTTタウンページ株式会社様のオウンドメディア「Make a BOSAI JAPAN」にて全国の編集長インタビュー＆防災事例インタビューのコラムを執筆。全国各地の特色ある防災のとりくみをメンバー自ら選定し、全国へ取材へ伺うことができました。付随したイベントである発刊式にも出席させていただき、2016年4月からは高知版防災タウンページの企画・制作を任せていただくことができ、現在も鋭意制作にとりくんでいます。

活動報告 – 鈴鹿市との連携

実施期間：2015年5月～2016年3月

三重県鈴鹿市と連携し、地元の女性たちでつくる防災コミュニティを立ち上げました。今回は小さなお子さんをお持ちのお母さん方を中心とし、ゼロからスタートしたこのプロジェクト。防災ガールは防災を女性目線で日常の中に取り入れる方法のレクチャーや、コミュニティの立ち上げ・運営のサポートをおこないました。
開始当初は防災の「ぼ」の字も知らなかったお母さん方も、半年後には立派な地域の防災リーダーへと変化し、自主避難訓練の実施や「mamoru」というママ向け防災冊子を作成する等、非常に力強い市民へと成長していく姿がみられました。

今年度連携させていただいた企業・行政・学校・団体のみなさまの一部をご紹介します

渋谷区 Shibuya City

NTTタウンページ

鈴鹿市 さぁ、きっともっと鈴鹿。

東急電鉄

RECRUIT

NTT都市開発

せたがや SETAGAYA CITY

宮崎県 Miyazaki Prefecture

Dr.Ci:Labo

yelp

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

ゲンキ還元プロジェクト www.genkikangen.com

SoftBank

東京都市大学 TOKYO CITY UNIVERSITY

伊藤園

東京YWCA The Young Women's Christian Association of Tokyo

東京都立江北高等学校

kakeru

Makuake

昭和女子大学附属 昭和中学校・昭和高等学校

情報発信チーム 実績報告

担当事務局：筒木 愛美

平成27年度の目標

①サイトの改修・コンテンツ力の向上
②10シェア以上される記事を半年で10個以上

平成28年度の目標

①編集部体制を確立し、定期的に更新
②各自のスキルアップのための研修プログラムを実施

TOPIC 1. サイトのリニューアル完了

念願だったサイトリニューアルを3月11日に無事完遂！親しみやすさとアクティブさを発信できるサイトになりました。

TOPIC 2. Facebookいいね数6000超え

順調にFacebookいいね数が伸び続け、ついに6,000を超えました。女性のファンも増加してます。

TOPIC 3. チーム体制変更

WEBメディア運営経験のある鬼塚さんがチームリーダー就任。研修体制を強化。

担当事務局：中西 須瑞化

人事・管理チーム 実績報告

平成27年度の目標

(チームとしては未設定)

平成28年度の目標

防災ガールメンバーとはどのような人であるべきか」を想像し、
人事・管理として団体に必要な基盤・システムを作る。

TOPIC 1. 入会の流れをシステム化

まずは説明会～入会までの一連の流れを作り、実施。

今回で見えた課題を、今後改善すべくチーム内で検討。

TOPIC 2. 内部研修・教育の実施

今まで取り組めていなかった、メンバーに対する

「知識」のフォローとコミュニケーションの機会の増加を実施。

また実技的な部分も総会で実習を導入。

TOPIC 3. チームリーダー制を導入

事務局＝リーダーとして動くのではなく、担当事務局として動く形をとることで、

メンバーの中の自主性を活かせる仕組を導入。

今後主軸とする活動

主軸としていきたい活動３つ

ロールモデルとしての防災ガールの育成・増加

まず自分たち自身が成長し、達成したいVISION,MISSIONに対するロールモデルとなるための教育プログラムの開発と実施を行います。毎月のテストと研修をはじめとして防災ガールでは加入したメンバー向けの教育と成長に今年度から力を入れています。

インパクト拡大に向けた連携産官学数増加とコンテンツ開発

防災ガールだけでは実現しにくいものやことも、私たちの考えに共感してくださる企業・行政・学校・団体の皆様とそれぞれの強みを活かして協力しあい、社会的インパクトのある事業実現を行います。そのためのコンテンツ開発、実施、連携数増加を狙います。

VISION実現へ向けて賛同者の増加

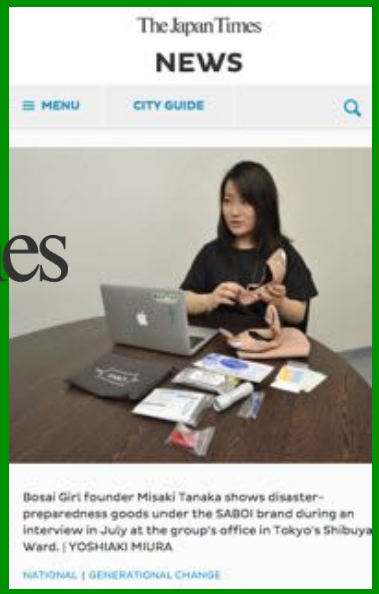
少しずつではありますが、認知度も高まり、多くの人にご協力いただいておりますが、ここからさらに賛同者を増やし、協力者を増やし、少しでも多くの人が防災をすることで防ぐことが出来る被害を少なく、二次被害を減らせるようにしたいと思っています。

メディア掲載

活動 – メディア掲載

平成27年7月1日～平成28年6月30日までの第二期に掲載されたメディアが以下となります。

The Japan times
『Getting Japan's youth engaged in disaster preparedness』
（2015/8/2 掲載）



Forbes JAPAN
『イノベーション女子特集 防災ガール』
（2016年2月号 掲載）

活動 – メディア掲載

平成27年7月1日～平成28年6月30日までの第二期に掲載されたメディアが以下となります。

東京クラッソ（TOKYO MX）
『舛添都知事と語ろう！ in 大田区』
（2016/2/10 登壇、2016/3/5,6 番組放送）

ニュース23 (TBS)
『防災ガールって？ 震災が変えた日本のIT』
（2015/3/9 放送）

内閣府 「ぼうさい」
（2016年 春号）

活動 – メディア掲載

平成27年7月1日～平成28年6月30日までの第二期に掲載されたメディアが以下となります。

内閣官房 国土強靭化 事例集
（2016/5/26 掲載）

Yahoo!
『YahooのCSR「あるべき姿」とは』

活動 – メディア掲載

以下過去掲載していただいたメディアをまとめました

TBS
日本経済新聞
ABC
The Japan Times
リスク対策.com company 企業 community 社会
Forbes JAPAN
ソトコト
TOKYO MX
YAHOO! JAPAN ニュース
沖縄タイムス
MAINICHI 毎日新聞
ニッポン放送
朝日新聞社
読売新聞
ホウドウキョク
ITpro
NHK
現代ビジネス
J-WAVE 81.3FM
JFN ONLINE
産経アプリスタ

収支報告

収支 – サマリー

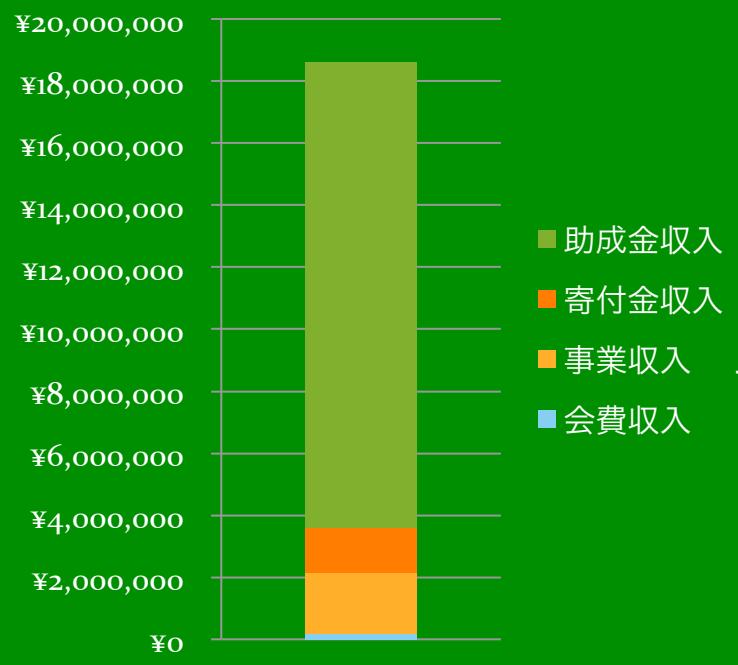
平成27年7月1日から平成28年6月30日までの収支状況を記載致します。

科目	実績
Ⅰ　収入の部	
1　会費収入	173,000
2　事業収入	10,998,635
3　寄付金収入	1,419,543
4　助成金収入	15,000,000
当期収入合計（A）	27,591,178
前期繰越収支差額	565,838
収入合計（B）	28,157,016
Ⅱ　支出の部	
1　事業費	9,092,400
(1)人件費	4,781,649
(2)その他経費	4,310,751
2　管理費（共通経費）	385,464
(1)人件費	0
(2)その他経費	385,464
3　予備費	0
当期支出合計（C）	9,477,864
当期収支差額（A）－（C）	18,113,314
次期繰越収支差額（B）－（C）	18,679,152

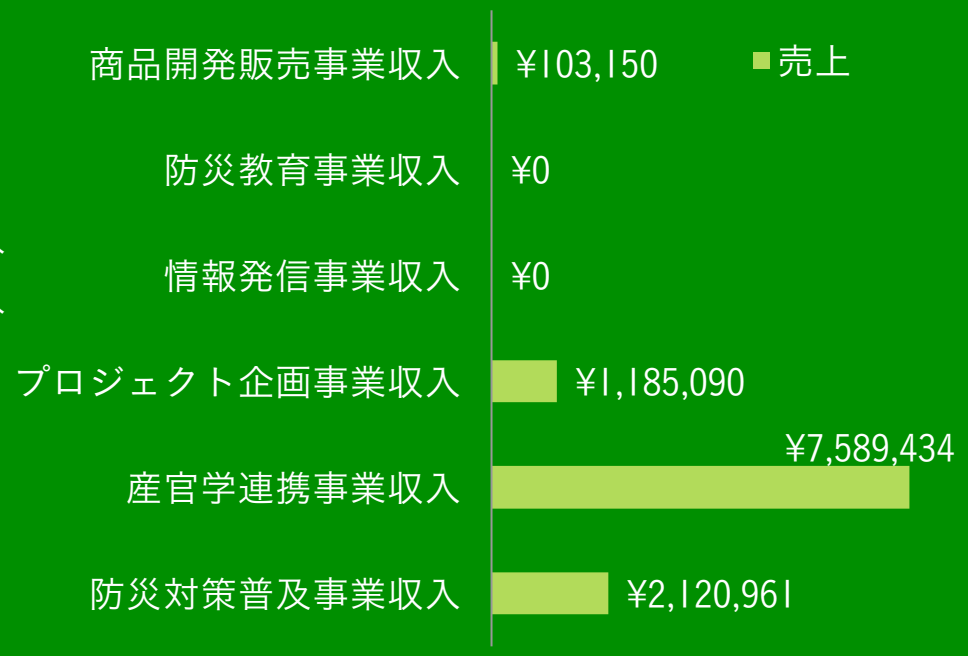
※年度を越えた事業に関しては総額に対して年度内の
実施日数によって追加しております。

平成27年7月1日から平成28年6月30日までの収入状況を記載致します。

収入全体の割合



事業収入内の割合

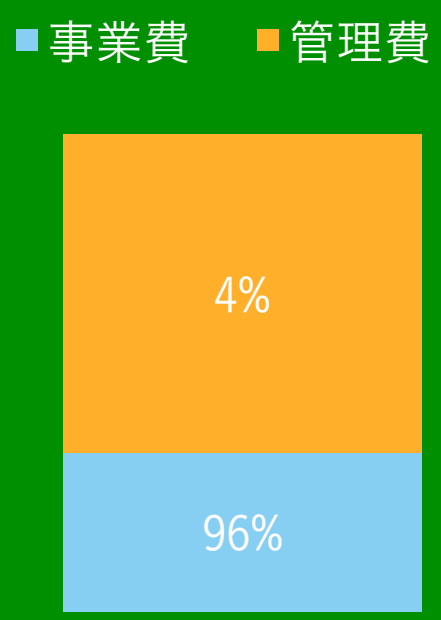


年度末に助成金を獲得したため収入全体では助成金収入は多いように見えますが、
年度を越えたプロジェクトなので来年度にかけて支出が多くなる見込みです。
全体として年間連携による固定収入がつくれ新規事業に時間をかけることが出来ました。

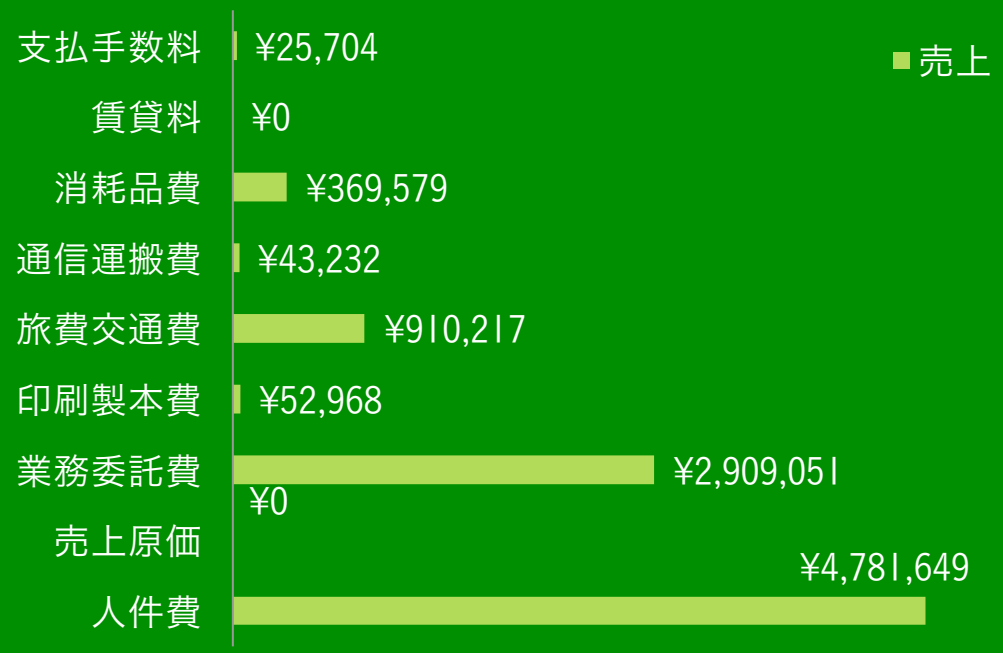
収支 – 支出の部

平成27年7月1日から平成28年6月30日までの支出状況を記載致します。

支出全体の割合



事業費の割合



昨年度と比べて有給スタッフが最大４名となり人件費が増えています。関わる人も増え、
出せるアウトプットも高くしていくことから業務委託費を活用してパワーアップしました。
全国飛び回りながらの活動もあり、無駄なく有効に託して頂いたお金を活用できました。

最後に

あーもうついに法人化して、2期目も終了したんですね。早すぎて驚いています。2期目が終了した今でも、「本当に私たちの活動って少しでもたくさんの人の防災に繋がっているのかな？」「これで本当に良いのかな？」そして「防災ガールになって活動してくれているみんなは楽しみながら活動できているかな？」と毎日不安とドキドキとワクワクでいっぱいです。実はこの1年はスポットではなくちゃんと団体と年間の契約をして事業をご一緒させていただいた企業・行政・学校がいたことが大きな一歩となり、視点・視野・視座が少しあがったようにおもいます。防災ガールという名前も少しずつではありますが知ってくださる方が多くなってきて、知らないところで噂をしてくれている人、マネして団体を立ち上げてくれている人がいることも聞いています。こうしてどんどん防災という分野でチャレンジする人を増やすことが出来ていることも、一つの成果なのかな？とおもったり。いやいや、そんなことよりも、これを読んでくださっているみなさんのお力添えがなければここまで来れなかったと思いますし、ちゃんと感謝の気持ちを伝えられていないのが一番嫌。いつもあたふたして、感謝やお礼を伝えきれていなくてすみません。心から感謝と尊敬と、大好きのおもいをこめて。そしてこれからはさらに防災の新しい価値提案をし続けるという決心を込めて。みなさま、本当にありがとうございます。大好きです。

一般社団法人 防災ガール
代表理事　田中 美咲

防災があたりまえの世の中に